

北九州市国家戦略特区について

令和5年11月10日（金）

企画調整局 特区担当課長 泊 圭子

北九州市のプロフィール

- 九州の最北端に位置する政令指定都市
- アジア諸国に近いというロケーションを生かし、明治時代の官営八幡製鐵所の創業以来、四大工業地帯のひとつとして、日本のものづくりを支えてきた
- 世界に誇る環境や産業の技術集積、空港や港湾、新幹線などの交通インフラが充実する一方で、長く美しい海岸線や緑豊かな山々など 自然にも恵まれた街



個性豊かな7区



若松と戸畑を結ぶ若戸大橋



唐造りの天守閣をもつ小倉城



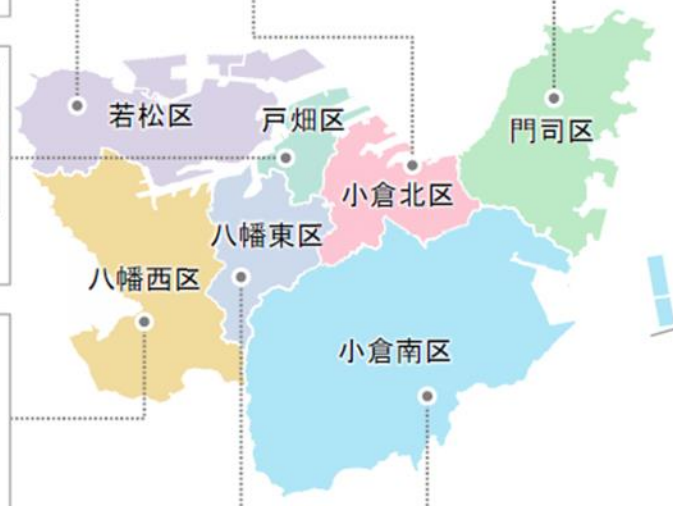
大正浪漫ただよる建物が多く残る門司港レトロ地区



ユネスコ無形文化遺産登録された戸畑祇園大山笠



黒崎エリアの魅力ある工場夜景



※一般には非公開の施設です
写真提供: 日本製鉄(株)九州製鉄所
世界文化遺産に登録された官営八幡製鐵所旧本事務所



平尾台のカルスト台地

国家戦略特区とは

平成25年度から、内閣総理大臣主導のもと、日本の成長戦略の実現に必要な、大胆な規制・制度改革を施行し、「**世界で一番ビジネスがしやすい環境**」を創出することを目的に創設された制度。

経済社会情勢の変化の中で、自治体や事業者が新しい取組を行う上で障害となっているものの、長年にわたり改革ができていない「岩盤規制」について、特別に規制の緩和等を、総合的かつ集中的に実施するもの。

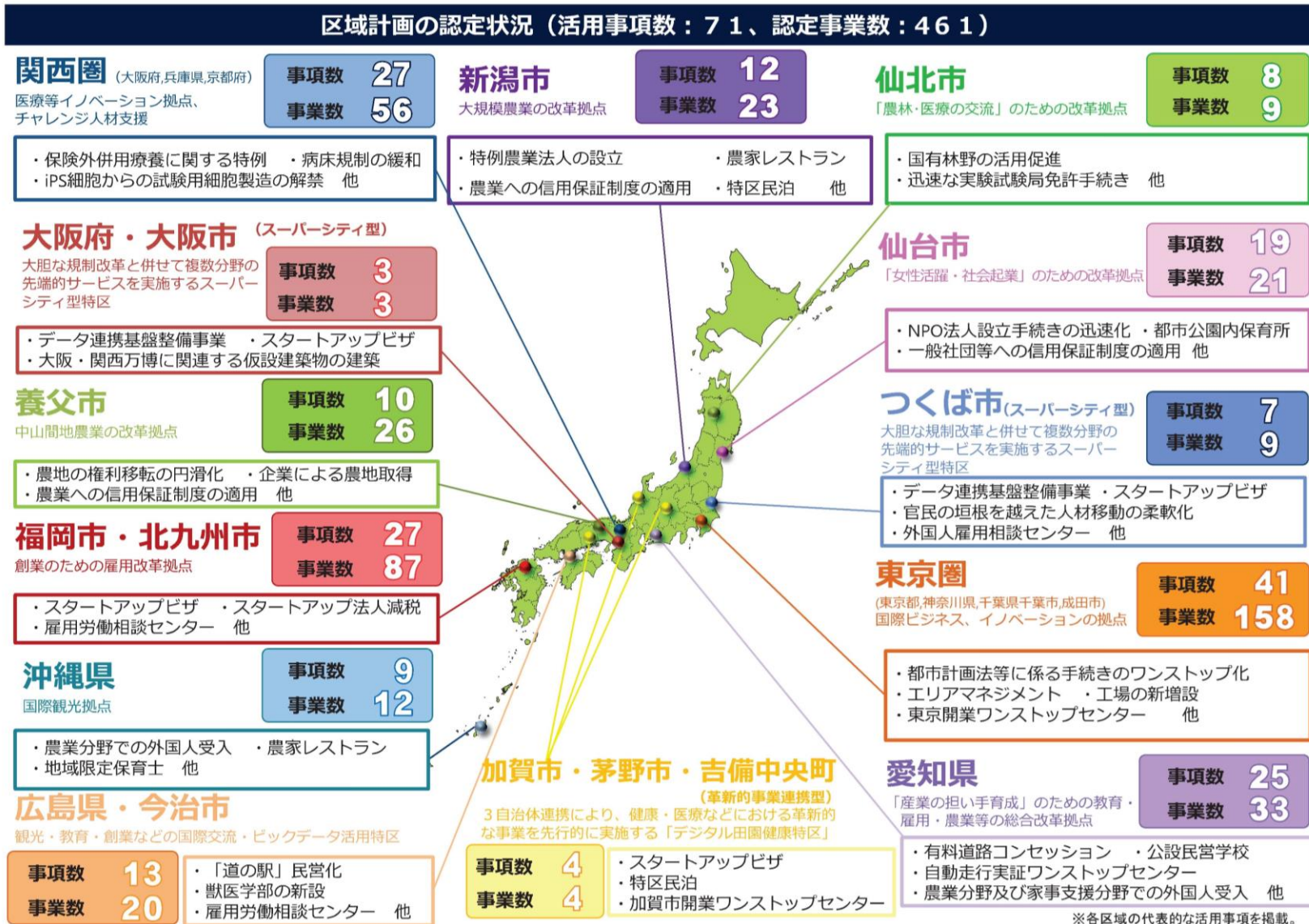
現在、全国13区域が指定されており、本市は福岡市とともに「**創業のための雇用改革拠点**」として区域計画の認定を受けている。

国の規制改革を新規に提案
→**特例措置の創設**

特例メニューの活用
→**個別の事業認定**

**世界で一番
ビジネスが
しやすい
環境**

国家戦略特区に指定された自治体のみ可能！



- 北九州市は、2016（H28）年に国家戦略特区に指定されて以降、「高齢者の活躍や介護サービスの充実による人口減少・高齢化社会への対応」をテーマに、4つの拠点形成を推進し、地方創生の成功モデル都市に向けた成長エンジンとしての役割を果たすことを目指している。

4つの拠点

1 「先進的介護・高齢者活躍拠点」の形成

シニア・ハローワークの設置や介護ロボット等の活用による介護職員の負担軽減、ロボット等の改良や開発などに取り組み、先進的介護・高齢者活躍の拠点形成を目指す。

2 「創業・雇用創出拠点」の形成

外国人の起業家を支援するスタートアップビザの活用や、官民の人材移動の柔軟化などの取組により、スタートアップ企業への支援を行うなど、創業・雇用創出の拠点形成を目指す。

3 「国内外の交流・インバウンド拠点」の形成

豊かな自然環境を生かした特区民泊などの取組により、国内外の交流・インバウンドの拠点形成を目指す。

4 「近未来技術の開発・実証拠点」の形成

「高度産業技術実証ワンストップサポートセンター」を核に、地域課題の解決や産業競争力強化等に資する近未来技術の開発・実証の拠点形成を目指す。

地方創生の成功モデル都市に向けた成長エンジンとしての役割を果たす

➤ 新たな規制改革を実現しながら、これまでに18特例活用、25事業を実施。（令和5年10月末時点）

1 「先進的介護・高齢者活躍拠点」の形成

介護ロボット等を活用した「先進的介護」の実証実装

特区活用全国初! 介護ロボットの開発・導入を促進。

シニア・ハローワークの設置

特区活用全国初! 50歳以上の求職者を重点的に支援。



2 「創業・雇用創出拠点」の形成

外国人創業活動促進事業（スタートアップビザ）

外国人の起業に必要な要件（資本金・雇用人数、事業所）を半年間猶予し、さらに最長1年間コワーキングスペース等も業所として認められ、創業がより円滑に。

海外大学卒業外国人留学生の就職活動支援事業

特区活用全国初! 海外の大学を卒業後、日本での就職を目指して来日した外国人留学生の日本語学校卒業後の就職活動継続を支援。

開業ワンストップセンター／雇用労働相談センター

開業に必要な登記、税務、年金・社会保険等の手続に関するオンライン申請や相談にワンストップで対応。「コンパス小倉」に設置。
また、スタートアップ企業を中心に、雇用主や労働者からの相談に弁護士等が対応。

人材マッチング支援センター／テレワーク推進センター

民間施設である「北九州イノベーションセンター」内に、スタートアップ等と民間企業や公務員等の専門的知見・スキルを有する人材とのマッチング支援や、テレワークに係る相談対応・情報提供などを行う窓口を設置。

今回オープン!

3 「国内外の交流・インバウンド拠点」の形成

エリアマネジメントの民間開放

道路でのオープンカフェ等によって、まちのにぎわいを創出。



郊外エリアにおける 特区民泊

自然体験と「地域住民との交流」をテーマとした特区民泊。

特定酒類の製造事業 汐風香る魅惑の／台地が醸す夢の ワイン特区

最低製造数量基準（果実酒）の特例措置を適用。 6kl → 2kl
→ H30年6月、北九州産ワイン販売(若松)
→ R3年4月、北九州産ワイン販売(平尾台)



空港アクセスバス関連規制の緩和

運行計画設定の際の届出期間を短縮(30日前 ⇒ 7日前)し、臨時バスを迅速・柔軟に運行。



4 「近未来技術の開発・実証拠点」の形成

電波法・特定実験試験局免許の迅速な取得

電波を活用した実証実験を行う際、迅速な免許発給が可能に。



北九州高度産業技術実証ワンストップサポートセンター

民間事業者や研究機関などによる自動走行、小型無人機、電波利用の実証実験が円滑に実施できるよう、ワンストップでサポート。

活用したメニュー

外国人創業活動促進事業（スタートアップビザ）

外国人の起業に必要な要件（資本金・雇人数、事業所）を半年間猶予。さらに最長1年間、コワーキングスペース等も事業所として認められ、特区区域内で、より円滑に創業できるよう支援するもの。

スタートアップビザ活用企業

FUTAGO

香港に拠点を置くジュエリーショップ



門司港の青い跳橋に夕日が沈む風景にインスピレーションを受け、結婚指輪を制作



若戸大橋開通60周年に合わせ、お土産用アクセサリを制作

コラボレーション事業

“コニセクト”プロジェクト

高校生による戸畑区をモチーフとしたアクセサリ制作



経済産業省「令和5年度起業家教育プロジェクト」事業に採択

北九州市立高等学校

戸畑映えユースプロジェクト



戸畑区役所と北九州市立高等学校が推進する若者の力で戸畑の活性化を図るプロジェクト
市内企業とデザート考案などを行っている

国家戦略特区を活用した事業者向け支援施設について

民間施設の北九州イノベーションセンターと特区支援施設と本市関連事業を連携させることで、包括的な事業者支援拠点の形成を目指します。

北九州市イノベーション人材マッチング支援センター

(設置主体：北九州市・内閣府)



民間企業・公務員等の
専門的知見・スキルを
有する人材

マッチング支援、
制度や人材交流の
機会に関する情報提供



スタートアップ企業等
(創業者)

・創業者等と民間企業、公務員等の専門的知見・スキルを有する人材のマッチング支援
・関連する制度、創業者及び人材交流の機会等についての情報提供

北九州市テレワーク推進センター

(設置主体：北九州市・内閣府・総務省・厚生労働省・経済産業省・国土交通省)



内閣府
Cabinet Office



総務省
MIC
Ministry of Internal Affairs
and Communications



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry



国土交通省



北九州市
CITY OF KITAKYUSHU

・相談対応
・支援制度の案内
・サービス・技術
の
情報提供
・体験機会の提供



テレワークを
導入したい
企業・労働者

・市内外の事業者等からのテレワークに係る相談対応、支援制度の案内
・リモートワークなど柔軟な働き方による人材確保支援や労務管理に係る情報提供

連携

ロボット・DX推進センター

Web会議やAI・IoT等、IT
ツールを取り入れた
新しいビジネススタイルへ
の転換を図る企業に対して、
専門家を派遣し、課題解決、
生産性向上を支援。

KiC KITAKYUSHU
INNOVATION
CENTER

北九州イノベーションセンター
(事業者：GZキャピタル(株))

REDEE
エデュケーション x エンターテインメント

みんなのスポーツミュージアム!!
**JOYPOLIS
SPORTS**
★★★★★

コワーキング
スペース

貸オフィス

イベント
スペース

第二期 (R6予定)

R & Dセンターエリア
実証・研究開発施設

ファクトリーエリア
冷凍冷蔵保管が
できる物流拠点

北九州市の関連する事業

連携

- ◆ 女性活躍関連事業(総務局 起業・人材マッチング・テレワーク・キャリアアップ等)
- ◆ スタートアップ・雇用促進・DX推進関連事業(産業経済局 起業・開業・人材マッチング・市内就職・テレワーク等)
- ◆ 地方創生・移住促進・関係人口創出関連事業(企画調整局 本センターの設置・運営と本市事業との調整・東京事務所等)

北九州市・東田 Super City for SDGs 構想

➤ これまでの実証支援や規制改革のノウハウを生かし、東田地区をフィールドに、「Super City for SDGs」として、環境・経済・社会の好循環によるSDGsの加速化、脱炭素社会の実現をといた内容で、国のスーパーシティ構想に応募。

環境 環境と経済の好循環による
脱炭素社会を目指すまち

経済 地域課題の解決や、新たな先端
ビジネスが生まれ育つまち

社会 あらゆる世代や障害のある方など、
みんなが活躍できるまち



主な先端的サービス

(全体：のべ82の事業者と連携した計31プロジェクト)

<p>再エネ電力 直接取引</p>	<p>スマート ごみ収集</p>	<p>円筒型 太陽光発電</p>	<p>次世代 水系蓄電池</p>	<p>CO₂フリー 水素</p>
<p>視覚障害者 歩行支援</p>	<p>自動運転 車いす</p>	<p>混雑状況の 見える化</p>	<p>スマート マスク</p>	<p>スマート バス停</p>
<p>オンデマンド EVバス</p>	<p>自動運転 モビリティ</p>	<p>自律飛行 ドローン</p>	<p>自動配送 ロボット</p>	<p>インフラ 点検ロボット</p>

- 令和4年8月に、スーパーシティ構想を市独自に拡充・推進するため、新たに「東田・未来都市プロジェクト」をスタート。
- 規制改革提案は、令和4年10月に、通常の家戦略特区のスキームで再提案。現在、複数が協議中。



<魅力的な実証フィールド>

- ◆大規模商業施設や商店街など、**多様な実証フィールド**がコンパクトに集積
- ◆5Gや3D地図など**充実したデジタルインフラ**が活用可能
- ◆水素タウン等、**脱炭素に向けた先端実証**が展開



産官学民が連携した
コンソーシアムにより
強力にサポート！

- 実証フィールドや許認可等のワンストップ支援
- 国や市の補助金等の獲得支援
- 国家戦略特区を活用した規制改革の支援
- 事業者間の連携支援、広報 など

全国初 人流センサとGPS、独自分析技術を用いたバス課題解決実証実験

実施体制



- 実証フィールドの調整と提供
- ニーズ（社会課題）の提供

▶ 交通局のバスを実証フィールドとして提供



- センシング技術の提供
- GPS技術の提供



センシング技術とGPS技術を融合

▶ 自社の「Pifaa Platform」プロジェクトの一環として全面協力



- 乗降データ分析ツールの提供



GPSデータとセンシングデータの調製

▶ 公共交通の維持存続に向け、社会貢献事業として全面協力

実証事業概要



開発

センシング技術（人流センサ） + GPS技術

GPSデータからバス停を特定

クラウド



データを移行



開発

乗降データ分析ツールで解析

▶ バス事業者は、センサを設置するだけで、見える化された分析結果の提供を受けることが可能に！

+ センシング技術（CO2センサ）

▶ 一定の数値を超えた場合アラートを発信換気を促し、感染症対策につなげる



<北九州発> 持続可能な地域公共交通の支援システムとしての展開を期待

➤ 国家戦略特区、東田・未来都市プロジェクトの詳細な取組内容については、ぜひ「北九州市国家戦略特区」ホームページをご覧ください。

北九州市国家戦略特区
FUTURE CITY KITAKYUSHU

市民の皆さまへ
事業者の方へ

- 特区を活用した規制改革
- 東田・未来都市プロジェクト
- 実証事業のサポート
- 税制優遇・補助制度

北九州市を、世界で一番ビジネスがしやすい環境に。

国家戦略特区制度は、成長戦略の実現に必要な、大胆な規制・制度改革を実行し、「世界で一番ビジネスがしやすい環境」を創出することを目的に創設されました。

日本新三大夜景都市 ランキング1位に再認定

グリーンアジア国際戦略総合特区

北九州市内で環境関連の設備投資をお考えの企業の皆さまへ

特区制度を活用した、税制優遇やその他補助制度を準備いたしております。ぜひ本市での開業・設備投資のご検討の際にご参照ください。

北九州市国家戦略特区・テレワーク推進セミナーを開催します！

北九州市国家戦略特区・テレワーク推進セミナーを開催します！

スタートアップビザ活用企業と北九州市立高等学校とのコラボプロジェクト始動

北九州市立高等学校の生徒が、小倉北区のスタートアップ企業FUTAGO JAPAN（フタゴジャパン）と共同で、学校が所在する戸畑区をモチーフにしたアクセサリーを制作するプロジェクトを始動しました。

第34回 福岡市・北九州市 国家戦略特別区域会議 北九州市提出資料

6月19日

区域計画が認定されました（北九州市テレワーク推進センターの設置）

6月19日に認定申請を行った「北九州市テレワーク推進センター」が同月28日付で内閣総理大臣認定を受けました。

【東田・未来都市プロジェクト】令和5年度の新規事業を募集します！

北九州市は、デジタル技術を活用した環境・経済・社会の好循環によるSDGsの加速化...

リンク集
お問い合わせ
サイト内検索

◀ 北九州市国家戦略特区ホームページ

<https://www.tokku-kitakyushu.jp/>

『 **北九州 特区** 』で検索してください。